

平成21年9月15日（火）14:00～16:00

リバーサイド川島園にて

記録：各務原市介護保険相談センター

介護支援専門員杉山 理恵

今月は、地域包括支援センターから予防プラン委託についてのお話、東海中央病院さんから医療連携加算の状況についてのお話がありました。また、NPO法人等がおこなう福祉有償運送などの移送サービスについて、通院介助について意見交換をおこないました。50名が参加しました。

1. 地域包括支援センターさんから 予防プラン委託に関する質問について

- ・ 11月19日（木）つつじ苑での居宅部会終了後、介護予防支援業務委託説明会を開催する。前回説明会に参加した方も参加可能。予防プラン委託について詳しく説明がある。
- ・ 経過措置もあり、去年に比べて予防プランが増えておらず、委託件数が増えていない。11月くらいからまた増えていくと思われ、委託をすすめていきたい。
- ・ 予防プランだけでなく、介護のケアマネを包括で探すことが多い。ケアプランの空き状況を教えてもらえるとよい。
- ・ 認定が出る前の退院調整で動くことが多い。退院調整時から一緒にケアマネと動けるとよい。

2. 移送サービス、通院介助等について

○NPO法人さわやか伝言板の河合さんから、福祉有償運送事業の説明。

・市内のNPO等では「社会福祉協議会」「福祉サポートセンターかがみはら わたぼうし」「さわやか伝言ばん」「ほおずきの会」が実施。それぞれの会員登録が必要。利用料金はタクシーの1/2程度。

・利用者の状況がわかるためにも、訪問介護と合わせての利用がのぞましい。

○それぞれの事業所から説明

・社協： 現在は車いす利用者限定。1か月前～1週間前に事前予約。ストレッチャーあり。

・あっとほうむ：緊急でもできれば対応している。自費の院内介助との組み合わせも可能。

・おたっしや堂：ヘルパー利用者に限ってきた。タクシーより安い。タクシーのように呼べばすぐ来るようには行かない。

・さくら：ストレッチャー、車いす対応、黒ナンバー等あり。

○グループに分かれ、通院介助や院内介助についてどのようにしているか、意見交換をおこなった。NPO法人や、それ以外の実費サービスで院内介護をお願いしているという声が多いようだった。

3. 東海中央病院より 医療連携加算開始後の状況等について

- ・ 地域医療連携室専従の看護師 河辺さんより。1名しかおらず全てのケースに関われないが、医療的な関わりが高い時に役に立てれば、MSWらと毎日顔を合わせるので連携してやっていきたい。
- ・ 退院調整のすべてにMSWが関わるわけではなく、院内のスクリーニングによりMSWが関わるかどうかが決まる。独居等ですぐに関わることもある。
- ・ MSWが関わるケースが月に60～70件。そのうち、医療連携加算の情報提供がある場合は月に10件ほど。
- ・ 情報提供書の「介護度」の記入欄、忘れず記入してほしい。
- ・ これまで、「医療情報提供書」について、病院で受け取りの確認印を押して返送していたが、県に確認したところ必ずしも返送の必要はないため、今後返送しない。(返信用封筒不要)「医療情報提供書を送付した」等の記録をケアマネがしておく。

以上